

令和5年度 入園のご案内

食育

…みんなで季節の野菜を育て
生長を楽しみいただきます！



泥んこ

…水、土を使ってたくさん
とろんこあそびをします。



裸足

…外でも、お部屋でも裸足生活
とっても気持ちいいですよ。

学校法人麻生文教学園

南福岡幼稚園



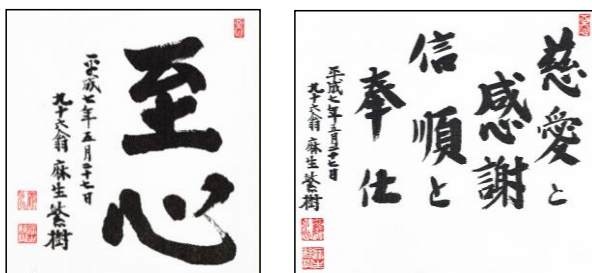


目次



1. 本学園の建学の精神
2. 本学園の教育目標
3. 南福岡幼稚園の概要
4. 幼稚園はどんなところ？
5. 幼稚園教育要領
6. 南福岡幼稚園の目指す幼児像
7. 南福岡幼稚園の年間目標とねらい
8. 南福岡幼稚園の充実した環境
9. 南福岡幼稚園の特色ある保育内容 1
10. 南福岡幼稚園の特色ある保育内容 2
11. 南福岡幼稚園の楽しい行事
12. 南福岡幼稚園の楽しい1日
13. 楽しい給食・安全安心対策
14. 子育て支援・保護者サポート
15. 令和5年度新入園児募集要項
16. 保育料その他納入金額

本学園 建学の精神



麻生学園創立者、前理事長、前学長、教育学博士 麻生 繁樹 書

「至心」とはまごころのことです。

すべての物（人）に慈悲、慈愛の心をもって接するという教え
職員一同、建学の精神を受け継ぎ、誠心誠意、お子様の教育に努めております。



「育ての心」序より(倉橋 惣三選集より)

自ら育つものを育てようとする心。それが育ての心である。
世にこんな楽しい心があろうか。それは明るい世界である。
温かい世界である。育つものと育てるものが、互いの結びつきに於て相楽しんでいる心である。
育ての心。そこには何の強要もない。無理もない。育つものの偉きな力を信頼し、敬重してその
発展の途に遵うて(したごうて)発達を遂げしめようとする。役目でもなく、義務でもなく、誰の心
にも動く真情である。
しかも、この真情が最も深く動くのは親である。次いで幼き子等の教育者である。
そこには抱く我が子の成育がある。
日々に相触る子等の生活がある。
斯うも自ら育とうとするものを前にして、育てずしてはいられなくなる心、それが親と教育者の
最も貴い育ての心である。
それにしても、育ての心は相手を育てるばかりではない。
それによって自分も育てられてゆくのである。我が子を育てて自ら育つ親。
子等の心を育てて自らの心も育つ教育者。
育ての心は子どものためばかりではない。親と教育者とを育てる心である。

※倉橋 惣三・・・1882～1955 日本の幼稚園保育の指導的立場で活動し続け日本
のフレーベルと言われた「日本幼稚園協会」の創設者
育ての心を持ち、一緒に相楽しみましょう。



本学園の教育目標

麻生文教学園は、子ども達の“根っこ”を育てる教育を行っています。子ども達の生きる力がしっかりと身についていくように、家庭・社会・幼稚園が協力し合い、連携を取りながら一人ひとりの育ちをサポートします。

- ・土の中で小さな根っこは大きく根を張り(幼児期) ・やがて芽を出し大きな幹となり(児童期)
- ・枝葉を広げ咲かせ(青少年期) ・やがては立派な実をみのらせる(社会人)



望ましい人間形成

幼児教育はしっかりと根っこを育てます

①基本的な生活習慣を身につける

- ・物を大切に
- ・約束や決まりを守る
- ・人に親切にする
- ・挨拶をする
- ・あとかたづけ
- ・衣服の着脱

- ・責任感
- ・自主性
- ・自省心
- ・協調性

②情緒の安定

- ・子どもらしさ
- ・やさしさ
- ・同情心
- ・がまん強さ
- ・気力
- ・明るさ
- ・落ち着き
- ・素直さ
- ・いとおしさ

- ・情 操
- ・愛 情
- ・慈 愛

③道徳性の芽生え

- ・助け合う
- ・公共物を大切にする
- ・譲り合う
- ・自分の物と人の物との区別
- ・人に親切にする

- ・自主性
- ・責任感
- ・根気強さ
- ・自省心
- ・向上心
- ・公正さ
- ・指導性
- ・協調性
- ・同情心
- ・公共心
- ・積極性
- ・自立心

④知的発達の芽生え

- ・意欲、意志
- ・知識
- ・やる気(根気強さ)
- ・驚き
- ・見たり、聞いたり、試したり、扱ったり

- ・積極性
- ・創造力
- ・工夫力
- ・記憶力
- ・行動力
- ・向上心
- ・指導性
- ・自立心

⑤土づくり(家庭・社会・幼稚園)

・しっかりと根っこが大きく育つよう、家庭と幼稚園が手を取り合って協力し合いましょう。



南福岡幼稚園の概要



本園は前身である『みつばち幼稚園』として昭和 36 年に開園され、その後昭和 59 年『学校法人麻生文教学園・南福岡幼稚園』として再スタートを始めました。

建学の精神である「至心」をもって人づくりの教育を行っています。

これまでに、4,144 名余の園児が巣立ち、父として、母として、社会人として、枝葉をのばし、たくましく成長しています。

『みつばち幼稚園』、『南福岡幼稚園』を卒園された方が、今では保護者として、2 世代に渡り継承していただき、大変うれしく思います。

園児、保護者、幼稚園が三位一体となり、充実した幼稚園の姿がここに 있습니다。

- 1, 本園は学校教育法第 1 条に基づくものであり、幼・小・中・高・大学と系統教育の一環をなす幼稚園(学校)であります。
- 2, 本園は幼児の心身の調和的な発達を特性を培い、個性の芽生えを助長し、豊かな感性と慈愛の精神を養い、心と体の健全な発達に重点を置く幼児教育の実践の場であります。
- 3, 幼児の心身の発達とその特性に応じた生活を展開するのに必要な施設・設備も整い、閑静な環境に恵まれた幼稚園であります。
- 4, 「教育は人なり」と言われるように本園はすぐれた教諭により、常に絶えざる研究と実践が行われ、愛と感謝の教育理念に基づいた教育を行っています。
- 5, 本園の教育課程は幼児の心身の調和的な発達の実情を考慮すると共に、家庭及び地域の実態や特質を加味したものであり、指導方法としては年齢別、クラス割の指導を主としていますが、時には異年齢クラス編成による縦割保育も行っています。
- 6, 本園は 2 年、3 年、4 年間を通した教育計画に基づき、年長(青組)・年中(赤組)・年少(桃組)満 3 歳児(たんぼぼ組)を主体とした教育を行っています。
- 7, 休園日は、土曜・日曜・祝祭日(園行事を行う月もあります。)その他夏・冬・春期の休み及び園で定めた日となっています。毎月第 2・4 水曜日は、午前保育(11:30 降園)です。
- 8, 本園は、教育実習生を受け入れており、学生と園児の活気ある触れ合いの教育実習の現場でもあります。
- 9, 私立の進学校として「麻生学園小学校」があります。麻生学園小学校は、学校法人麻生学園及び麻生文教学園の麻生グループの小学校であります。受験をご希望の方は、園長推薦ができますので、お申し出ください。



幼稚園はどんなところ？

幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。

学校教育のスタートは幼稚園から

○「学校」というと小学校からと思いませんか。幼稚園も学校教育法に基づく「学校」です。
3歳から小学校入学前までの子どもは、全国どこでも共通の教育課程に基づく教育が受けられます。

○学校教育法第1条（文部科学省）

「この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。」と、学校教育法・第1条に規定されています。
幼稚園は、学校教育法に基づく幼児教育を行う学校です。従って、管轄は文部科学省です。

「遊び」は重要な学習です

○幼稚園は、遊びを大切にした教育を行っています。

この時期に思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が豊かになるといわれています。

○このため、幼稚園では、小学校以降の教育と異なり、教科書を使わず、「遊び」中心の活動を行っています。これらの「遊び」は、「国語」や「算数」などと同じように子どもの将来にとって重要な学習なのです。

小学校以降の学習の基盤は幼稚園で作られます

○幼稚園の「遊び」と小学校の「国語」や「算数」などは、一見何のつながりもないように見えるかもしれませんが、しかし、子どもは、幼稚園で様々な遊びを通して、うまく人とかわかれるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気付いたりすることで、小学校以降の学習の基盤をつくっているのです。

幼稚園の目的

◎学校教育法第二十二條

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

幼稚園教育の目標

◎学校教育法第二十三條

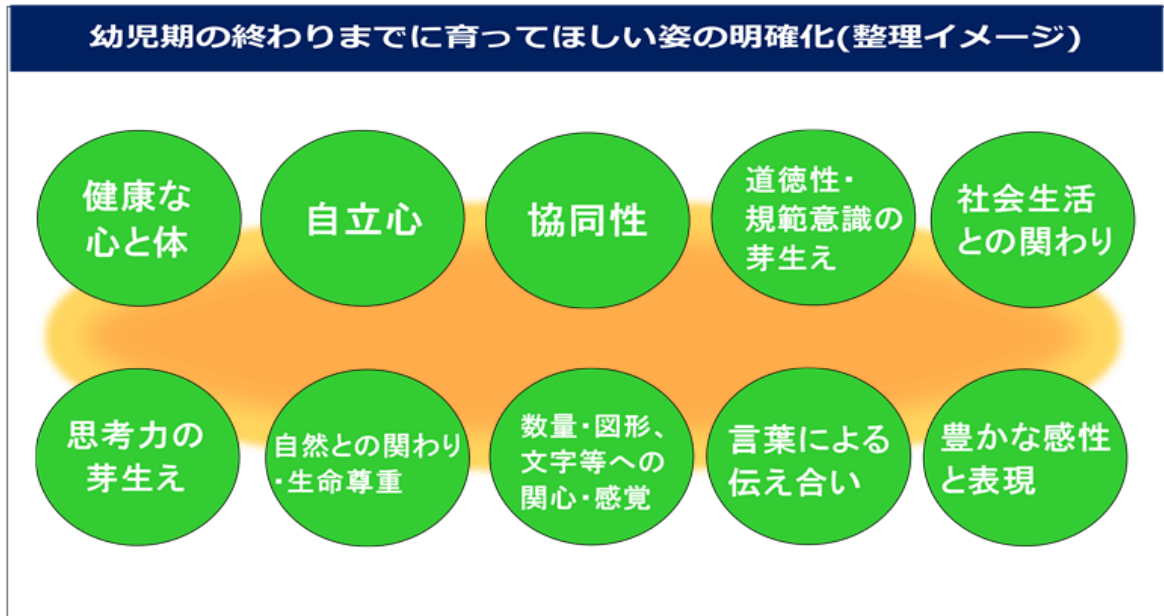
幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとします。

1. 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
2. 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
3. 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
4. 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
5. 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽

幼稚園教育要領

平成29年3月告示 平成30年4月より施行)

小学校の「スタートカリキュラム」につなげて幼児期の教育は、教科を中心とする小学校以上の教育と違って、遊びを中心とした生活を通して、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことが基本です。さまざまな体験を積み重ねるなかで、お互いを関連させながら、徐々に育むこととしています。そこで、5 領域を維持しつつも、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、以下の事項を示しています。



幼稚園教育要領(5領域)

5 領域は、子どもの発達を「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」という5つの側面から捉えたものです。

1. 健康・・・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
2. 人間関係・・・他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う。
3. 環境・・・周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
4. 言葉・・・経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
5. 表現・・・感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。



南福岡幼稚園の目指す幼児像



知性（知）・感情（情）・意志（意）のバランスのとれた心身共に健やかで、
明るくのびのびとした子どもを育てます

知

知性を伸ばす
創造力・想像力・判断力・思考力

色々な事柄に興味を示し、考え、工夫し、試し、
伸び伸びと表現する。

情

情操を養う
感謝と慈愛の心・うるおいのある心・美しい心
豊かな情操（夢）

美しい心、優しい心を持ち、友達と仲良く協力し合う。
常に感謝の気持ちを持ち素直に心から
「ありがとうございます」と言える。

意

意志を身につける
がんばる力（根気）・生き生きと行動する力
健康でたくましい力

心身共に健全で強い意志を持ち、明るく伸び伸びと
行動する。最後までやり抜こうとする力を身につける。

～こんな子どもに育てたい～ 倉橋 惣三

泥んこ遊び 砂遊び 遊びは何でも大好きで

友だちがたくさんいて 虫や動物や花が好き

時々けんかや チョップリいたずらをする

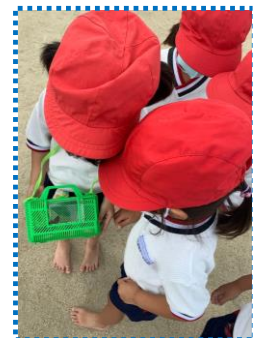
おかしい時には大笑い 悲しい紙芝居や童話の時には涙ぐみ

叱られたりするとしゅんとなり 褒められると 有頂天となって喜ぶ

返事 挨拶 しつけのけじめだけはしっかりして

目はきらきらと 輝いている

こんな 子どもらしい子どもに育てたいものである



☀️ 南福岡幼稚園の年間教育目標とねらい ☀️

1 学期
適応の時期

2 学期
発展の時期

3 学期
充実の時期



★満3歳児

- 新しい環境に親しみ、年上の友達や保育者に見守られている安心感を持ち好きな遊びを楽しむ。
- 基本的な生活習慣を身につけ、のびのびとした園生活を送る。

★3歳児

- 園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でしようとする。
- 基本的な生活習慣が身につき、自信を持ってのびのびと行動する。
- 進んで異年齢の友達と関わり、信頼感や愛情を持って活動に取り組む。

★4歳児の年間目標

- 異年齢の友達と刺激を受け合い、思いやりや協調性を持って相手の気持ちを受容する。
- いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友だちとの関わりを広げる。
- 身近な環境に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりする。

★5歳児の年間目標

- 主体的に活動に取り組み、友だちを認め合ってグループ遊びが進められるようになる。
- 年長としての役割を自覚し、意欲的に活動する中で年下の友だちとのかわりを深め思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
- 自然や身近な事象に興味・関心を持ち、好奇心や探究心を高めていく。
- 就学に向けて目標を持ち、自覚と自信を持って行動する。

☆お子様の発達、療育等に関してのご相談がある場合は、必ず入園前にご相談ください。



南福岡幼稚園の充実した環境



子ども達にとって素晴らしい施設・環境の中で安心・安全に過ごすことができ笑顔あふれる幼稚園生活を送ることができます。



広い園庭

のびのび駆け回る元気な子ども達の声が響いています。



スクールバス送迎

安全第一を考え送迎をしています。運転手と補助職員が乗車し安全確認をしています。



コミュなび

学年毎のカリキュラム発信、欠席連絡などスマホやPCから行っていただけます。



フローリングの室内

木のぬくもりを感じ、開放的な明るい保育室です。



心地良い環境の中で過ごせます。



水遊び

夏には、プール遊びや水遊びができます。